

# 県連ニュース

2022年1月 NO-534号



『武尊山』

## 滋賀県勤労者山岳連盟

## 2022年 1月号 目次

新しい年の初めに .....	2
案内	
交流登山 .....	3
報告	
南アルプス深南部(ステップアップ登山講座3) .....	4
ぐうたら会長のつぶやき .....	6
1—3月 行事予定表 .....	7

表紙の写真：『武尊山』

撮影者：彷徨倶楽部 本田氏

## 新しい年の初めに

会長 友永 芳和

2021 年はコロナ、コロナに追われて十分な活動の出来ない一年になりました。非常事態宣言は解除されましたが、新たにオミクロン株なる変異ウィルスが出てきました。コロナの終息が見通せない状態が続いています。コロナウィルスがゼロになることはないと思います。インフルエンザと同じように上手にコロナに付き合っていきましょう。今まで以上に感染対策をしっかりしていきましょう。

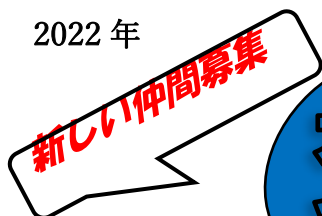
2022 年もコロナに振り回される一年になるとは思いますが、いつまでも後ろ向きになってはいけないと思います。よく言われている事ですが、何もやらない事を後悔するよりも、何かをやって反省する事が大切だと思います。2022 年は前向きに様々な活動をして反省する一年にして行ければと思います。2021 年は生活環境、生活様式など様々な変化のあった一年でした。2022 年は県連活動、登山活動、それぞれの会活動を見直して、新たな活動を模索していく一年になって欲しいと思います。皆様のアイデア、ご希望、ご批判、ご意見を県連までお寄せください。一つ一つ皆さまのお力をお借りして改善していきます。清掃登山、登山祭典、交流山行なども改善できるところは改善して、少しでも前向きな活動が出来ればと思います。2022 年も皆様に満足していただける活動はできないかも知れませんが、理事メンバー全員の力を合わせて、力を尽くして活動していきます。力不足の面も多々あります。皆様のお力添えをいただき、活発な活動ができる一年であるように願っています。

最後に私の目標です。あと 14 残っている県内 3 等以上、500m 以上の三角点を訪ね終える事です。若い頃と違って体力も意欲も低下していますが、時間をかけて何とか終えたいと思っています。それと山登りを終える前に、久住山や大船山の山頂は踏まなくても良いので九重山群の坊ヶツルをもう一度訪ねる事。もう一つ私の山登りの原点である福智山の山頂に立つ事です。

私たちは山に行くとナンボです。頑張ると山に行きましょう。

2022年

1月号



# 交 流 登 山



◎「交流登山」とは……県連の各会はそれぞれ会独自の活動を行っておりますが、このたび各会の枠を超え、他会員が他の会の指定山行に参加できるようになりました。（但し、交流登山指定山行のみ）

◎「参加の申し込み方法」……行ってみたい山行の申込先へメールで申し込むだけです。

申込みは→「所属会名・氏名・住所・生年月日・ケータイ番号」などをメール！（詳しくは下記の通り）

日 程	2022年 1月 15日（土）	企画	山友会
山域・山岳名	（比良山系）鳶岩 ～ 牛山		
予定コース	JR 山科駅（7:06）⇒7:45 着北小松駅 出発（8:20）⇒鵜川出合（9:00）⇒岩場下（10:00）トラバース道出合（10:40）⇒（11:00）鳶岩（11:30）⇒牛山（11:45）⇒⇒出合（13:30）⇒滝山登山口（14:30）⇒JR 北小松駅（15:00）着後 解散		
装備について	一般冬山装備（防寒着・手袋など）・ワカン・アイゼンほか		
“企画からひと言”	『一般にはあまり知られていないマイナーなルートですが琵琶湖の絶景が楽しめます』		
集 合 場 所	（湖西線）JR 北小松駅 8:00		
山 行 時 間	約7時間（下山予定 15:00）		
参 加 受 付	豊田（滋賀山友会）	toyoda@eos.ocn.ne.jp	
受 付 締 切	2022年 1月 5日（水）⇒ ※下記の「申込時の注意」を厳守願います		

日 程	2022年 1月 23日（日）	企画	ちごゆり山歩会
山域・山岳名	（三雲エリア）三雲城跡		
集 合 場 所	J R 草津線 三雲駅 9:20		
山 行 時 間	約5時間（下山予定 14:30）		
参 加 受 付	柴田（ちごゆり山歩会）	snkf63425@maia.eonet.ne.jp	
受 付 締 切	2022年 1月 16日（日）⇒ ※下記の「申込時の注意」を厳守願います		

「※申込時の注意」 （申込み・問い合わせは、必ずメールでお願いします）

①所属会名 ②氏名 ③住所 ④生年月日 ⑤携帯電話番号 ⑥集合場所

※申込者の情報は、登山計画書の作成に必要となりますので、間違いのないよう正しく記入願います。

「交流登山」企画・参加を  
来年もよろしく願います



< 報告 > **南アルプス深南部・犬切尾根～池口岳～西尾根**  
**ステップアップ登山講座 2021 (3)**

木村敦子 / 比良雪稜会

日 程 : 2021年11月12日(金) ~ 11月14日(日)

講 師 : 秋田 誠 (彷徨倶楽部)

受講生 : 其阿弥道子 (比良雪稜会) 、木村敦子 (比良雪稜会)

行 程 : 11/12(金) 伊吹 PA 20:00-道の駅「信濃路下条」23:30

11/13(土) 道の駅「信濃路下条」6:30-池口橋(車デポ)7:40-池口川徒渉点 8:20~8:30  
-シャクナゲ沢横断点 10:25~10:30-P1530 12:00-標高 1930m 泊 14:45

11/14(日) 泊地 6:10-鶏冠山北峰 7:30~7:40-笹の平 8:10~8:15

-池口岳南峰分岐 10:05-池口岳北峰 11:10~11:20-加加森山分岐 11:45

-露岩 12:30-ザラ雑テント場 13:50-黒雑 15:35~15:40-池口岳登山口 17:50

-池口橋(車デポ)18:50

今期の無雪期ステップアップ講座は雨に祟られ中止が続いたが、最終回となった今回の山行は晴れ。秋の陽光が山を錦に染めた。

### 11/12(金)

今回の前泊地「信濃路下条」はなんと畳敷き。通常前泊地は軒下にテントが相場。寝るのがもったいないくらいだ。ワインで乾杯し貸切の大広間の端っこに寄り添って就寝。

### 11/13(土)快晴

車のフロントガラスがガリガリと凍っている。気温は大分下がった様だ。朝曇りの中、車を進める。山の斜面に立つ家々、山間を縫う様に走る線路。陽が高くなるにつれ山の色づきが鮮やかになってくる。「めっちゃきれい〜」とはしゃいでいられるのも、この時までだった。

ここ行くんですか？ 行けるんですか？ 的な道を進み、池口橋近くに車を止める。ザックのストラップをガッチリ締めて出発。

昨夜の快適な泊りといい、今朝の無風快晴の空といい、今回の山行は良い予感しかない。川向うに1組のパーティの姿を見つける。「私達とは逆周りなんですかね〜」と言いながら進む。・・・逆周りではなかった。我々、朝一から清々しいまでのルートミス。車まで戻ってリスタート。川沿いの林道をしばらく進み川に下りる。渡渉点を探しながら進むと、今朝見掛けたパーティを見つける。渡渉を終え登山口に取りつくところの様だ。私達もその辺りに目星を付け、潔く靴を脱ぐ。

膝下渡渉がある事は知っていた。心の準備は出来ていたが、現実は厳しい。足がちぎれる。キンキンに冷えた足、なかなか戻らないだろうなと思ったが、すぐに戻った。急登が続いたからだ。

よく登山口入ってすぐ数メートルだけ激登りってあるじゃないですか。あれが、標高 1400m まで標高差 650m も続いていてびっくりだ。シャクナゲ沢までは、土を掴んで登る。やっと空が見上げられる地点に着いた。犬切尾根に出た。これで、視界を地面が遮る急登が終わった。後は大きな景色を見ながら稜線をゆったり歩くのだ、来たぞ、ザ・アルプス。

と、その時は思ったが、違った。

広い稜線に出て、受講生が交代で読図をしながら先頭を歩く。なかなか地形図と目の前の景色が重ならない。でも、コンパスと地図で進む方向を見定めていくのは、面白い！

稜線歩きを楽しみながら先を見上げると、真っ白に雪をまとった主稜線が見えてきた。目の前に見えるのは鶏冠山。鶏冠山を越えた先の笹の平辺りでテントを張る予定だったが、「あの白い山今から越えるってないよ」的雰囲気は充滿。平坦な場所を探してなんとなく目が泳ぎ始める。1930m地点で「・・・じゃあこの辺で」と荷物を下ろしたのが 14:45。今回は2テンに3人だ。これは軽量化でも、寒さ対策でもなんでもなく、秋田さんのテントが使えなかったからだが、結果的には、とても良かった。



渾身の渡渉！小川に見えるのが悔しいところ。

まずはホットワインで乾杯。ラーメン鍋を食べながら、明日のコースタイムを積み上げる。どうしたって、下山 18:00 超える・・・？。となるが、どうしようもないので、そのまま寝る。

11/14(日)曇りのち晴れ

雪が降った様だ。しかし寒さは左程厳しくなく、温かいお餅入り味噌汁を食べて出発。まずは鶏冠山を目指す。なかなかの急登と倒木に阻まれ、1 時間 20 分かかって到着。ここから先、写真で見た景色に入っていく。笹の平は広々とした開けた稜線だ。風を避けられる地点に、テントを張ったであろう場所が見える。池口岳に向かう稜線上で雪が本格的についてくる。近づくにつれ、傾斜もきつくなる。池口岳南峰分岐にくるが、迷わずパス。池口岳山頂は「やったー！」感はなく、その先のラクダのこぶの様に連なるピークに「へえ？」となる。11:20 長い下山が始まる。傾斜がきつく、バックステップで下りる。アップダウンが続きなかなか水平キョリが稼げない。ようやく傾斜が緩くなり、南アルプスの山並みに目が行く様になる。光、上河内岳が見える。南アルプスの山の大きさは、独特なものがあるなと感じる。光は、果てしなく遠い。黒薙到着 15:35。池口川を挟んで歩いてきた犬切尾根を眺める。・・・長い。よく歩いたなとしみじみ。



2 テンに 3 人。狭いくらいが調度良い。



鶏冠山北峰 7:30 おはようございます！



吹きさらしの笹の平



池口岳付近。雪山でした。

樹林に夕陽が差し込み、周りを金色に照らす。温かな光に包まれながら、先行する二人が進んでいく。同じ景色に自分もいる事がとても幸せに感じた。

日没は間近、急ぐ。ヘッドの灯が揺れる。「あ、着いた〜。」と其阿弥さんの声。池口岳登山口に 17:50 到着。日はどっぷりと暮れていた。そこから林道を 1 時間。車デポ地点に着いた。歩き続けた 12 時間。疲労感と充実感で満たされながら、帰路についた。

#### ◆一口感想

朝晩の冷え込みがあるとはいえ、まだまだ寒いという感覚に鈍感になっているところへ初冬の池口岳。登山口では紅葉を、山頂では立派なエビのシッポを楽しみました。山頂はしっかり冬でした。黒薙にて 2 日かけて回ってきたピークや尾根を眺めた時は本当によく歩いた！という充実感でいっぱいでした。

(其阿弥道子)

池口岳お疲れさまでした。みなさんとっても頑張りましたね。

お天気に恵まれ怪我もなく、難コースを縦走出来てとても嬉しいです。

(秋田 誠)



夕陽が木の葉を照らす。まだまだ下りるよー。

## ぐうたら会長のつぶやき

会長 友永芳和

新年早々少し恥ずかしい事を書きたいと思います。県連ニュースの品位が落ちると眉をひそめる方もおられると思いますが、山ばかり登って頭のおかしくなりかかったジジイのたわごとだと思って読み流していただければ幸いです。

先日山からの帰りに一杯やったのですが、そんなに飲んでないと思ったのに、たくさん飲んでいたようで帰宅後風呂にも入らずにそのまま寝てしまいました。オシッコをしたくなり寝袋から出て立ち上がると、正面に雪の壁が立ちふさがっていました。出来るだけ大きな穴を開けようと勢いよくオシッコをしたのですが、突然雪の壁が崩れかかり体が埋まりかかり冷たいと思って目が覚めました。なんとオネショをしてしまったのです。幸い少し出ただけだったので慌ててトイレに飛び込みました。それでもジャージとパンツと寝袋の一部が濡れていました(私はこの何十年かフトンではなく寝袋の中に入って寝ています)。私も紙おむつが必要になってしまったかと落ち込んでしまいました。どんな紙おむつがいいのかと考えました。菊池桃子の宣伝しているものか、草薨剛が宣伝しているものが良いのか。オバアチャンは一人でスツとはけるかもしれないが、オジイチャンは何かに引っかかってスツとはけないかも知れない。まあ～そんな事はどうでもよいが、とうとう私もそんな世代になってしまったかと感慨深いものがあります。朝寝袋を干そうとしたのですが、さすがに濡れた部分は向かいのマンションのベランダから見えないように干しました。まだまだ恥ずかしいという気持ちがあって良かったなと思いました。そんな事を思うんだったら、こんな原稿書くなと言われそうですが…。

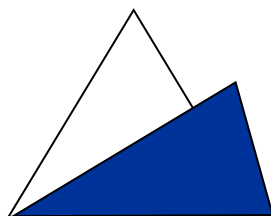
疲れすぎ、飲み過ぎはいけませんネ。反省する事ばかりの一日になってしまいました。

## 1 - 3月 行事予定表

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
				1	初日の出山行「権現山」	雪稜
				3	武奈ヶ岳(新春登山)	彷徨
				9	新春登山/愛宕山	岳友
	8-10	乗鞍高原スキー(スキーネット スキー協行事)		9	比良(シャクナゲ尾根)	ちご
	12	理事会(ZOOM併用)		9	新春山行「武奈ヶ岳」	雪稜
	15	山スキー教室(スキーネット)スキージャム勝山		15	交流山行「比良山系 蔦岩～牛山」	山友
	22-23	雪山基礎講座2022(2)(CSS)		16	希望ヶ丘/バードウォッチング	岳友
1		ハヶ岳・権現岳		16	湖東 箕作山・太郎坊山	山友
	21-24	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)		16	京都トレイル⑤(高雄～苔寺谷)	雪稜
				22～23	冬の上高地	岳友
	26	理事会(ZOOM併用)		23	交流山行(三雲城址)	ちご
				29	金勝アルプス	彷徨
	5	山スキー教室(スキーネット)ダイナランド		6	干支山行「虎御前山」	山友
	10-13	雪山基礎講座2022(3)(CSS) 中央アルプス・木曾駒ヶ岳		6	湖北・土蔵岳/スノーハイク	岳友
	12-13	小谷温泉山スキー(スキーネット スキー協行事)		13	綿向山(樹氷ハイク)	ちご
2	16	代表者会議(明日都浜大津)		13	養老山	雪稜
				19-20	茶野岳～御池岳	岳友
	18-20	雪山基礎講座2022(3)(CSS) 中央アルプス・南木曾岳		20	十二坊(岩根山)～善水寺	山友
	18-23	北海道ゲレンデ・山スキー(スキーネット)		20	第43回定期総会	雪稜
				26	岩湧山(ダイトレ)	彷徨
				27	猪子山	ちご
				5	取立山	岳友
	6	第46回定期総会PM 講習会 AM (大津ふれあいプラザ)		12-13	越前大日山～加賀大日山	彷徨
				13	梅花見	ちご
3	18-22	北海道ゲレンデ・山スキー(スキーネット)				
				20	鍋尻山/福寿草	岳友
				27	比良山	ちご

会名略号 山友: 滋賀山友会、岳友: 湖南岳友会、雪稜: 比良雪稜会、ちご: ちごゆり山歩会  
 シャク: シャクナゲ溯行クラブ、彷徨: 彷徨倶楽部  
 スキーネット; 山スキーネット滋賀、CSS: クライミング研究会滋賀





2022年2月号の原稿は、1月15日〆切です。

原稿の投稿先は 古川 [tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp](mailto:tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp)

村田 [k-hiyake@hera.eonet.ne.jp](mailto:k-hiyake@hera.eonet.ne.jp)

用紙サイズは A4、フォントは本文 11~12、タイトル 14~16、

余白は上下左右 19mmとし、

使用する写真は 200KB 以内としてください。

皆様のご協力をお願いいたします。

『県連ニュース2022年1月 NO.534号』

発行日：2021年12月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0047

Email [shigarosan@gmail.com](mailto:shigarosan@gmail.com)

大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F

ゆうちょ銀行(店名418)

大津市市民活動センタースモールオフィス内

普通 0239956

メールボックス NO13

<http://shigarousan.jimdo.com/>

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 古川 哲郎 村田 啓二